

クローバー Clover

vol. 26

2012年7月発行

編集・発行

君津中央病院

☎0438(36)1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>



写真提供:市村 明彦 様(富津市在住)

理念

私たちは良質で安全な医療を提供し
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。



認定第JC295-2号
審査体制区分4(ver. 5.0)
2009. 8. 23~2014. 8. 22

日本医療機能評価機構とは、市民が
適切で質の高い医療を安心して享受
できるよう、医療機関の機能を学術
的観点から評価する第三者機関です

基本方針

- 1 接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2 高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3 包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4 救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5 職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6 病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

目次

表紙《病院の風景》……………	1	看護局9階東病棟の紹介……………	5
「あ、危ない!」~こどもが安全に暮らせる家庭を~…	2	管財課施設管理室の紹介……………	6
麻酔のおはなし……………	3	附属看護学校〔ご案内〕……………	7
検体検査部門の紹介……………	4	大佐和分院より〔医師の紹介〕……………	8

「あ、危ない!」～こどもが安全に暮らせる家庭を～

気をつけて! こどもの「不慮の事故」

親が家庭内でこどもの安全に注意を払うのは当たり前のことですが、不慮の事故は常にちょっとした不注意が原因で起きます。2010年の厚生労働省の統計では、「不慮の事故」による死亡は0歳児の死因の第4位、1～4歳児の死因の第2位となっており、ちょっとした不注意が命にかかわることもしばしばあります。しかし、常に気を抜かない生活というのは不可能です。そのため、乳幼児にとって少しでも危険性が高いものは、家庭に持ち込まない工夫が必要だと思います。子育てに使うもので、その危険性が知られているものを3つご紹介します。

○お風呂の浮輪

乳児と2人でお風呂に入らなければならない時、洗髪の間だけ一人で立つことができない乳児を湯船に浮かせておくことができればよいのですが、その希望を満たすものに、こどもの安全を保障できるものではありません。お風呂の浮輪は以前からその危険性は知られており、2009年春の時点で製造・販売している会社はないとされていますが、すでに購入されたものは実生活で使用され、現在でも同じ傷害が発生し、命を落とすこともあります。絶対に使用しないでください。



使用イメージ



パンツ型シートに
足を通す

○スリング

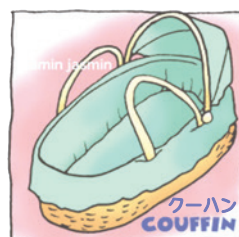
布状の抱っこひもです。輪になった布を片方の肩に斜め掛けにし、ポーチと呼ばれる袋状の部分に赤ちゃんを抱き入れて使用するものです。

赤ちゃんを抱っこしても両手が自由になるなど使い勝手は良いようですが、首を前屈させ過ぎて窒息状態になったり、スリングからの転落や脱臼の報告もあり、2010年に国民生活センターから注意喚起を促す文書が出されています。



○クーハン

クーハン (couffin) とは、フランス語で取っ手の付いた大きな柔らかい手編みのかごのことであり、ベビーキャリーなどとも呼ばれています。取っ手がないものを室内限定で使用するのは構いませんが、「クーハンに赤ちゃんを入れて運ぶ」のは間違った使い方であり、非常に危険です。赤ちゃんを抱っこして移動する時、転びそうになってもほとんどの親は我が身が傷ついてもこどもを守ろうとしますが、クーハンに入れて移動している時、転びそうになっても瞬間的に同じようにこどもを守れるのでしょうか? 1999年の国民生活センター報告によれば、7年間で44件の事故があり、このうち頭蓋骨骨折が7件あったそうです。クーハンに赤ちゃんをいれると見た目が可愛く、現在でも時々外来で見かけますが、移動手段として使用するのはやめましょう。



(小児外科 山田 慎一)

麻酔のおはなし

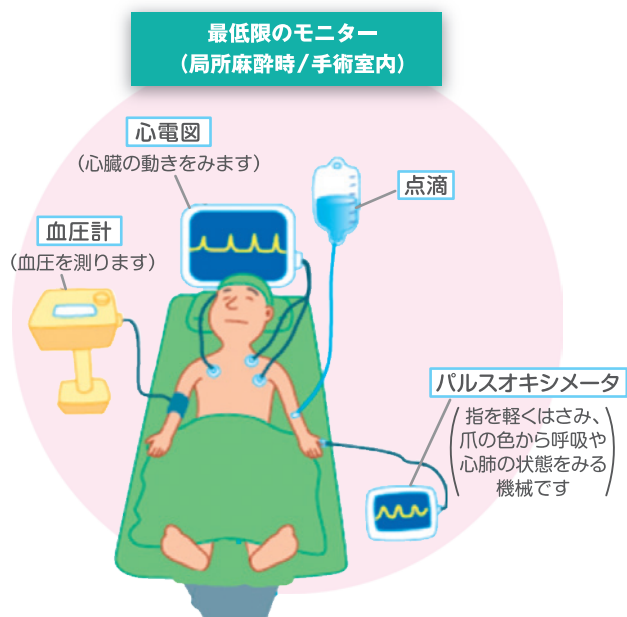
「手術の時、麻酔ってどうするの?」「麻酔って、何?」等々、多くの方にとって麻酔科どころか麻酔そのものがおなじみではない様です。ここでは、麻酔科のリスクマネジメントについてお話しします。リスクマネジメントは、危機を避けること、生じた危機に対応することの2つ側面があります。まずは、危機(≡手術/麻酔の合併症)を避ける対策です。

麻酔科医が診察や検査の結果をふまえて、担当手術の麻酔計画を立てます。その計画をカンファレンス等に諮り検討します。これは、手術前から手術後に起こりうる合併症(リスク)を予測し、安全に手術/麻酔を行う対策をたてるためです(リスクの回避)。高血圧/糖尿病/風邪の様な病気でも、実は油断できないことがあるのです。



全身麻酔は、マスクで酸素を吸入しながら始まります。麻酔中は、手術と身体の状態を判断してバランスを保ちながら手術が可能な状態にします(無意識/無痛の状態です)。

そのために手術の状況(進行状況や出血 etc.)や種々の「モニター」から全体の情報を入手/判断し、危険な状態に陥らないよう先手を打ちます。必要な処置は鎮静薬/鎮痛薬の調節、呼吸管理:呼吸状態の調整、循環管理:輸液や輸血/薬剤投与で血流を適正化、糖/電解質等の代謝管理、体温管理などですが、ときには手術の中止



ありませんが、起きてしまった危機に対応することも麻酔科の役目です。手術中の危機への対応が麻酔科の主なお仕事?だったのは、そう遠い昔のことではありません。このように予測できるリスクと突発的なリスクを可能な限り排除して、安全に手術が行える様にすることが麻酔科のリスクマネジメントです。

や術式変更もあり得ます。無事に手術が終了すると、意識や呼吸などを人為的な管理から元に戻して(麻酔から醒まして)麻酔を終了します。

次のリスクマネジメント側面、予測外の異常事態(血圧低下/不整脈/心停止や呼吸状況悪化/呼吸困難/呼吸不全等々...)が発生した場合、その都度必要な対応/処置(手術時の危機管理)を行います。詳しく書いている文字数はもう



(麻酔科 野村 明)

医療技術局 臨床検査科 検体検査部門の紹介

臨床検査科では、臨床検査技師という国家資格を持つスタッフが主に血液分析、尿や便の検査、輸血検査、微生物検査、病理検査、採血、心電図やエコーなどの生理機能検査を行っています。

検査科検体部門は、スタッフ10名で構成されており、1日約1,500～2,000件の血液や尿の検体を扱っています。

検体検査は、オーダリングシステムを採用、バーコードで認識、分注・入力ミスなどによる検体の取り違えをなくし、より迅速で精密・正確な検査データを出すことを心がけ、スタッフ一丸となり努力しています。

血液・一般スタッフ



病院内に検査室があるため、臨床の医師や看護師への連絡もスムーズで、検査データの問い合わせや追加検査にも柔軟に対応し、他職種との連携を図りながら、チーム医療として患者様に『質の高い医療』を提供するお手伝いをさせて頂いております。

生化学・免疫スタッフ



今後、分析機や搬送システムの入替えなど大きなイベントを控えています。
若い技師さん達のパワーを借りながら、次世代にも対応できる機能・精度が計れる検体検査を目標に頑張ります！ 石上



検体検査部門は患者様に直接お目にかかる部門ではありませんが、検体1本1本が患者様のお体の一部ですので、少しでも早く結果を臨床側にお届けし、診断の助けとなるように努めております。 角田



(臨床検査科 角田 昭代)

看護局 9階東病棟の紹介

9階東病棟は、消化器内科(32床)、外科(8床)、呼吸器内科(4床)、感染症病床(6床)、ベッド数50床を有する病棟です。急性期・慢性期・終末期とさまざまな状態、疾患の患者様が入院されています。また、指定感染症病床として、特殊な設備を有しています。

病棟の職員構成は、医師・看護師35名、看護助手3名・クラーク1名です。

病院の理念「私たちは、良質で安全な医療を提供し、地域の皆様に親しまれる病院をめざします」に基づき、9階東病棟では、「患者様に満足の頂ける医療・看護を提供できる環境づくり」を目標に、医師、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー等、他職種と連携を取りながら患者様の治療、療養中の援助を行っています。



＜看護助手＞ 鈴木・斎藤・堀

忙しい病棟ですが、3人で力を合わせて、患者様の日常生活援助の充実を心がけています。



＜新人＞ 廣川・後藤・田島

勉強することが多く大変ですが、先輩看護師から暖かく指導を受け、はやく患者様から信頼される看護師になれるよう頑張ります。

「看護はチームワーク」

看護師の仕事は、一人では出来ません。24時間、患者様に質の高い看護を提供するためには、チームワークが大切です。スタッフ間の声かけあい、気付きあい、協力しながら日々笑顔で、できるかぎり患者様の声に耳を傾け、患者様の心に寄り添う看護を心がけています。

＜病室から見える風景＞



(9階東病棟 金網 はるみ)

事務局 管財課 施設管理室の紹介

施設管理班は、正規職員7名、委託職員1名、臨時職員2名の計10名で病院敷地面積109,548㎡、建築物延床面積63,990㎡を維持管理しています。敷地面積は、東京ドーム46,755㎡(約216m四方)の約2.3倍に相当します。

業務内容については、主に電気設備、給排水衛生設備、空調設備といったエネルギー部門の維持管理をしています。そうしたなか、今般、原子力発電所の停止に伴う電力不足、さらに電気料金の値上げは、報道等でご承知かと思います。

君津中央病院は、関東経済産業局より「エネルギー使用の合理化に関する法律」(略称「省エネルギー法」)により特定事業者指定されています。

特定事業者とは、エネルギーの年間使用量(電気、ガス、灯油)が原油換算で1,500kl以上が対象の事業所です。当院の使用量は6,000kl強で診療A棟、保育所の増築などにより年々増加傾向にありますが、経済産業局より「エネルギー使用の合理化」を求められています。

「エネルギー使用の合理化」とは、一定の目的を達成するためのエネルギーの使用に際し、より少ないエネルギーで同一の目的を達成するために徹底的な効率の向上を図ることを意味する概念です。すなわち、エネルギーを使用する際に科学的、合理的な手法を駆使して、設備構造(ハード)面、若しくは運転管理(ソフト)面での改善・改良を行うことにより、エネルギーの使用を減少させることです。また、目的とする生産やさまざまなサービス提供に対して、求められる品質や安全などの要求を満たしながら、直接的に消費するエネルギーを最小化する活動です。

省エネルギーを実施するにあたり、電気・ガス・水道の節約はもちろんのこと、設備管理業務を徹底し、設備機器の最適な運転管理を心が

け、患者様に癒しの空間とサービスを提供し、職員の方々が働きやすい環境を整備していきたいと思います。また、節電等により、良きご理解、ご協力を賜り、微力ながら省エネルギーの貢献に努めたいと思います。



(施設管理室 唐鎌 啓一)



君津中央病院附属看護学校

<入学式>

4月6日に入学式を行い、新たに36名(男性4名、女性32名)の新入生が入学しました。

入学式では、それぞれの期待を胸に、緊張した表情でいる新入生の姿が見受けられました。これからの学校生活で良い仲間と共に学び、楽しい思い出をたくさん作って欲しいと思います。



入学式の様子

<オープンキャンパスのご案内>

オープンキャンパスを行いますので、受験するしないにかかわらず、多数の方に参加して本校を知っていただきたいと思います。興味のある方はぜひお越しください。なお、原則として申し込み制となります。

第1回：平成24年7月28日(土)

第2回：平成24年8月5日(日)

時 間：12:30から16:30頃まで

(当日は13:00までにお越し下さい)

内 容：学校紹介、模擬授業、演習体験、
在校生との交流会、進路相談など

持ち物：上履き、筆記用具

問い合わせ・申し込み：

TEL 0438-36-1071(代表)

内線(4850、4851)



オープンキャンパスの演習体験の様子(救急蘇生法)

<君津中央病院附属看護学校整備事業について>

君津中央病院附属看護学校は、昭和47年に建築したため、すでに40年余りが経過し、老朽化、狭隘化に伴って、平成25年度末までに新築することとなり、現在、整備事業を進めています。

学校の規模は、現在の1学年1クラス(35人)から1学年2クラス(60人)に学生の定員を増員して、3学年(180人)となります。なお、新校舎の開校については、平成26年4月の予定です。

君津中央病院広報誌「クローバー」の表紙写真募集について

病院を利用する皆様の視点から撮影した、君津中央病院の写真を募集しています。応募の方法は、病院ウェブサイトより

ホーム > 広報誌「クローバー」

をご覧ください。

Information
お知らせ

大佐和分院よりお知らせ

人間ドック受付中
TEL 0439-65-1251

大佐和分院 医師紹介

千葉に戻り、3度目の春を迎えることとなりました。長いようで短い2年の研修を経て、晴れて4月からは大佐和分院の一員として勤務しております。2年前に卒業した栃木の大学は各都道府県より学生が集められ、卒業後はそれぞれ自分の出身地に戻り、山間地や離島といった医療過疎地に派遣する人材を育成する少々特殊な大学でした。そんな経緯もあり、今年から地域派遣で大佐和分院に来ることができました。幸い千葉県は恵まれており、山間部もなければ離島もないため、診療所を一人で任されるということもありません。さらに自分にとって恵まれていたことは研修をさせていただいた君津中央病院の近くに派遣となったことでした。診断や治療に困った際に相談させていただいたり、まったく知らない医療機関に紹介した場合と異なり経過を詳しく知ることができ、今後の診療に役立てられる点が非常に大きく感じます。

研修病院から大佐和分院にきて、今までは血液検査などはオーダーをすれば終わりでしたが、夜間は

自分で検査の機械を動かしたり、頭部CT、レントゲンを撮影したりと大きな病院のありがたみを痛感させられました。一方で、自分自身のできる検査の幅が広がることで診断ができる

病気に幅が広がるのが地域医療の面白いところだと思います。と、まあ真面目な話はこの辺で、実際は当直の回数や書類仕事は増えたものの、平日の帰宅時間は早くなり、帰りに富津公園に行きジョギングしたり、職員さんに釣りに誘われて行っていただき、新たな趣味を見つけたりと仕事以外でも充実した日々を送っております。

君津中央病院に戻る頃には入職時よりもパワーアップして凱旋する予定なので、ご期待ください。

(内科 寺林 郁人)



外来診察担当医表

(平成24年4月1日～)

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		備 考
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科・小児科	庄司		田中		北湯口		田中		田中		桐谷医師 毎月最終の 木曜日のみ
	寺林		北湯口		庄司		寺林 (桐谷)		北湯口		
					三浦						
循環器科		山本・松戸・関根 (交替)									
神経内科			藤沼								
外 科							朱				
整形外科			保住								
皮 膚 科				稲福							
泌尿器科					稲原						
眼 科	佐々木	佐々木	佐々木		佐々木	佐々木	佐々木		佐々木		
人間ドック					田中				山倉		

受付時間
午前 8:00～11:30
午後 12:00～15:00

診察開始時間
午前 9:00～
午後 13:30～ (皮膚科 14:00～)

国保直営君津中央病院大佐和分院
富津市千種新田710番地
TEL 0439-65-1251



編集後記

暑い季節になってきました。今年も蚊に刺される季節がやってきたとウンザリしますが、バーベキューや海水浴、花火、キャンプなど、夏にはたくさんの楽しい風物詩があります。みなさん、楽しみながら暑い夏を乗り切りましょう。今年の夏休みはどこに行こうかな・・・(^.^)♪

(A. Y.)

